

(仮称) 第4次基本構想(たたき台)に対する意見募集の結果について

別紙2

No	意見提出者の区分	意見内容
1	1.区内に住所を有する方	・建物、ビルやマンションの外観を白色にする。玄関、入口をそこに住んでる住民が建物、ビルやマンションの住民の好みの色に一色塗る。
2	4.その他利害関係を有する方	・現代社会には、随時、変遷するため、"何かを求めるのか"の議論も大切だが、世界の人、誰もが何時でも穏やかな平和な地であることを実感できる環境を備えた理想郷が、千代田のあるべき姿である。現実を築く多種・多様・多彩なる人たちが集う地には、計り知れない自然の恵み、科学の進展による景観が構築されているだろう。 ・社会、環境、衛生、福祉の拠点の確立を描くためには、「新型病床探求機構(仮称)の設立」や「機構設立推進委員会による手続き準備を遂行」が考えられる。
3	1.区内に住所を有する方	・現在の神田駅西口地区は飲食店が多数ありとても魅力的である一方、街の景観が綺麗とは言えず、飲食店やマッサージのキャッチも多く、清潔さに欠けていると感じている。駅前の道路を綺麗に舗装してもらい、建物の建替え、改修を行ってほしい。また、飲食店やマッサージのキャッチについても規制を頂きたい。 ・神田駅西口地区をファミリーでも安心して歩ける地域にしてほしい。その上で、神田地区も日本一(の食、文化、教育等を)目指す街として計画をお願いしたい。
4	1.区内に住所を有する方	・千代田区は、区外も含めて色々なエリアがつながり、互いにそれらの特性を享受するとしている。区の施策として、これらの基本的な特徴を充分に見極め活用することに注力し、短期的な視点での開発・変更を行わないという方針を持つべきである。先般策定された千代田区都市計画マスタープランを遵守し、千代田区の特徴のあるエリアを、どこにでもある町にしないように工夫すべきである。住民が区と作り上げた地区計画も破る超高層ビルの建設を区が先導して許容してはならないと思う。自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち、集い、つながり、活気と賑わいのあるまち、やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまちをつくるには、伝統と歴史と特徴を変えずに、工夫次第で実現可能である。区民の意見を充分に把握する工夫をしていく必要があり、現在はこれが欠けている。区民に対する情報発信を適時適切に行い、区政への区民の主体的な参画を推進していくとの方針は、具体的にはどのようにすべきかとの研究を行い、区民に問うことを求めたい。
5	1.区内に住所を有する方	・目指すべき将来像として、「千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びと」に焦点を当てていることを高く評価したい。これまで「人」よりも「企業・会社」に焦点が当てられてきたように感じられるからである。これからの時代は、行政が「そこに住み、働き、学び、集うすべての人びと」に焦点をあてることを期待したい。 ・(仮称)第4次基本構想(たたき台)はよく書かれてはいるが、もう一步、踏み込んで、例えば「ハード」から「ソフト」への重視を謳って頂けないか。「ビルが建ち並ぶ千代田区」ではなく、「人々の笑顔がある千代田区」を望む。 ・「町会」、「隣組」、「回覧」などを通じた住民の意向集約はもはや機能しづらくなっている。インターネットを使ったアンケートなどをもっと利用して住民の意向集約に努める、そのことを基本構想で謳ってほしい。

6	1.区内に住所を有する方	・分野別の将来像で示されている3項目（健康な暮らし・賑わい・住環境）は、それぞれ千代田区の重要な政策目標であり、賛成する。 ・千代田区の中の地域別特色を十分反映出来ていないと思う。 ・千代田区の魅力は、国際的ビジネス街、国政の中心、江戸時代からの商業地、閑静な住宅街、といった地域がそれぞれその特徴を維持している事である。それぞれの地域の特徴を伸ばし、千代田区の多様性を促す基本構想作りをお願いしたい。
7	1.区内に住所を有する方	・人口増が現在のインフラに与える影響や区の考えを明示する必要があると思う。心地の良い言葉が並んだ「たたき台」ではなく、重要な課題である「人口問題」への区の取り組み態勢を述べていただきたい。
8	1.区内に住所を有する方	・はじめにでは、「アフターコロナの暮らしに明るさと豊かさを実感できる千代田の新時代」とあるが、アフターコロナの千代田区の課題（現状認識）が何かを具体的に提示頂きたい。区民としては、「住み続けられ住みなくなる街造り」が依然として重要な価値だと考えている。 ・千代田区は長い歴史もあり、また国会、官庁、ビジネス、学校や住宅地区など多様性に富んだ地域だと思う。将来像は、「分野別」だけではなく「地域別の将来像」も掲げて頂く方が良い。「人が主役」との認識であれば、住居環境や学校・文教施設の充実などにも是非ご配慮頂きたい。 ・「区民の主体的な参画」とあるが、千代田区からの発信だけでなく、区民の声の幅広い吸い上げにもより丁寧な対応が望まれる。
9	1.区内に住所を有する方	・以下の要素を「めざすべき将来像」に挿入してほしい。 【皇居を中心とし、その東南に議事堂、官庁街。東側には大丸有に代表される我が国最大のビジネスエリア、北側には神田の誇る古書店街、若者文化を牽引する秋葉原、また西側の番町は明治政府の俊英たちの居住地となった事から、西欧の情報の太いパイプとなりました。江戸文化と西欧風の香りが番町個有の知的な風土を作り上げました。とりわけ近代教育、それも女子の近代教育にその風土は見取れます。現在でも設立100年を超す有名校が7校存在します。これらの歴史的背景が、番町固有の住環境・教育環境を作り上げました。】 ・主にまちづくり事業に関し、参画・協働が円滑に働いていないと思われる。より丁寧な情報発信、意向調査を目指す趣旨を盛り込んでほしい。
10	2.区内に事務所または事業所を有する個人および法人その他の団体	・目指すべき将来像について、また実現に向けた方策について、現状認識をまず明確にすることが必要である。 ・「良好な環境」については、千代田区は首都東京の中でも中心部であり、率先して取り組んでいく必要がある。千代田区の地球温暖化対策の効果はCO₂の排出量で測られているが、途中から効果が下がっている。それは、この数年容積率が緩和され、高いビルが増えた時と一致している。この現実を目を背け、さらなる高層建築物を作ることは、地球温暖化を促進する。建築物の高層化はこの現実において、やってはならないことである。もう一つは、現在ある樹木を守ること、一本も切ってはならない。 ・「区民の主体的な参画」は歓迎する。風通しのいい開かれた区、ジェンダー平等、全員参加で地球温暖化対策に取り組んでいく必要があると考える。今回の基本構想には、CO2排出量を減らすことを具体的に進めていくことをうたってほしい。
11	1.区内に住所を有する方	・住民は自分たちが大切にされ、幸せに暮らせることを願っている。千代田区は住民との信頼関係を再構築する必要があるのではないか。 ・目標に年次がないのはなぜか。いつまでに何を達成するのか期限を決めることは重要である。 ・担当部署で町会長を集めての推進協議会では住民自治が機能しない。神田警察通りのイチョウ伐採に関する住民訴訟で明らかになったのは住民参加を担保する条例があるにもかかわらず、遵守されていないことである。 ・デジタル民主主義の時代を先取りするシステムの構築を期待したい。

12	1.区内に住所を有する方	・現役時代に、海外駐在を合計5カ国で22年ほど経験した。街並みと景観を考えたとき、一つだけ、決定的に残念に思うことがある。それは電柱の存在である。どうして電柱をなくせないのか不思議である。
13	1.区内に住所を有する方	・第3次基本構想を廃案にしてほしい。 ・目標年を決めないで美辞麗句等抽象的な文言を羅列した構想は、意味がない。どの自治体でも通用するものは意味がない。 ・地球規模の異常気象による千代田区への影響をいかに軽減できるか、集中豪雨、台風の大規模化、熱波、必ず発生する首都直下型地震等への備えではないか。 ・千代田区で人口の適正規模はどの程度か。これ以上住民を増やしたときのデメリットを区は真剣に考えなければならないのではないか。 ・街づくりにおいて、あまりにも前近代的である。当たりまえのことが遅れすぎている。
14	1.区内に住所を有する方	・区の立場「区民の命と生活を守る」をまず約束してほしい。 ・情報発信が区民全域に周知されていない。今までの広報、意見聴取のやり方では駄目だということである。住民への周知の徹底とファックスを持っていない、メールを送信出来ない区民の意見も聴取出来るシステムが必要である。区と区民一丸となったまちづくりを千代田区全体で実現してほしい。 ・「だれもが豊かさを享受できるまちをめざす」とあるが、大丸有、神田・秋葉原の商業地域、番町・麹町のようなそれぞれ特色をもつ地域から成っており、それをひとまとめにしては無理があるので将来像は地域別に掲げるべき。 ・「暮らし続けられる様に決め細かな行政の施策を行う。」と行政の義務も書いてほしい。区と区民が一丸となって、暮らし続けたいと思える住環境を作してほしい。 ・基本構想には「文教地区」という視点が欠けている。千代田区は文教を重視していないのか。文教地区だどいうのに番町地域では事業者と一丸になって高層ビルを建てる為の地区計画変更行政が力をいれていることは大変残念な事である。区民や団体、企業だけでなく、教育機関およびそこで学ぶ学生が魅力あるまちを目指すことを盛り込んでほしい。
15	1.区内に住所を有する方	・行政は番町の文教地区としての歴史の重みを、本当に理解されているとは思えない。活気とは、華やかさや利便性ではなく、穏やかな学びと、そこに住んだり働く人々が、信頼とともに築く日常性の上に成り立つものではないではないか。歴史ある文教地区、住宅街に、見知らぬ回遊者が大勢闊歩することは、活気ではない。また、治安の維持にも結びつかない。教育こそが、差別のない、戦争のない、他者を思いやる事ができる心を育てる為の、最も重要な鍵である。100年後200年後の価値に繋げていく為の都市構想を実現して頂きたいと切に願う。

16	1.区内に住所を有する方	「行政を自らの判断と責任において」とあるが、基本的には「行政裁量に委ねる」と言う意味にも捉えられかねない表現である。基本構想に「住民の意見を聞くこと」は全く必要なく行政主導で進められるのではという事なのかという疑念が湧く。 ・千代田区は住民の人口が何名になることを目標としているのか。どのような世帯を増やすことを目標としているのか。生活に根付いた具体的な数値目標をご提示されことで非常に共感を得られやすいと考える。 ・千代田区に長く住む人たちの話を聞くと、昭和の時代の千代田区の「にぎわい」は住民たちの「にぎわい」である。今の秋葉原などの「にぎわい」とは毛色が違う。この構想は何を目指し、どのようなタイムラインで、どのような人たちが構想及び決定に関わっているのか。 ・「まちには「人」がいて、はじめて活気とにぎわいが生まれます。」とあるが、本当に全てのまちに「にぎわい」が必要なのでしょうか。夜に自宅で「やすらぎを感じたい」と思うときに、自宅周辺で「にぎわい」があると「安心して快適に」暮らせませんか。住民目線も忘れずお考え頂きたい。 ・今回の基本構想と都市計画マスタープランの違いは何か。どちらも都市、まちの未来を構想するものだと思うのですが、何が違うのか。 ・良好な環境を次世代に継承するためには、最新の技術を取り入れるだけでなく、先人たちに学ぶ必要もあると考える。例えば、いちょうの木々は街路樹として植えられているが、これらは関東大震災の時に焼失しなかったことから「火伏せの木」として植えられた。千代田区は、政治・経済・文化の中心として歴史を刻んできた地域なので、過去のを古くなったから更新する、というだけでなく、維持・保存し将来への教訓とする姿勢を持つべきであり、それがまちの「魅力」であると思う。 ・『はじめに』には「千代田区は、約400年にわたり」と書かれているが、歴史の改竄はやめてほしい。千代田区は昭和22年に成立した区である。昭和22年以来、日本の中心としての役割を果たしてきた、といったような書き方の方が良い。 ・行政としては、どのように「住民自治」を促していく計画なのか。 ・子育て世代は千代田区に住み続けるのか。高い教育を受けた子どもたちが千代田区に住み続け歴史を継承していける可能性を秘めた魅力ある基本構想を打ち出して頂きたい。
17	1.区内に住所を有する方	・景観的視点が欠けている。千代田区は各地域別に特色があり、その土地の持つ記憶を踏まえて、独特の発展をしてきたことを考え、むしろ地区別の将来展望を提示すべき。 ・景観の項目があるべきである。 ・将来像を実現するために、区民、事業者、行政だけではなく、多様な専門家、NPO等々を積極的に取り込んで、全てを公開形式で、より優れたまちづくりを目指すシステムの構築が希求されている。
18	2.区内に事務所または事業所を有する個人および法人その他の団体	・時宜にかなった素晴らしい取組だと思う。内容については、SDGsのコンセプトが盛り込まれており、概ね好感している。 ・多くの住民やステークホルダーにとって納得できるたたき台だと思う。 ・「危機」に対する取組を構想の柱の一つに示すべきである。（（１）千代田区の住民に対する生命や生活の安全性に取組むこと（２）千代田区に本社のある上場企業にとって安全な地域と判断されるよう取組むこと） ・本たたき台に示されるように区民の安全を第一と置く場合、その実現可能性に至る道筋はこれまでと同じというわけにはいかない。 （１）住民の安全…令和の時代となってきたからの大きな環境の変化は、①コロナ禍における様々な危機、②気候変動と自然災害による危機、③紛争や犯罪に巻き込まれる有事における危機である。とりわけ基礎自治体として、国や都とは異なる目線で取組まなければならない。国や都が目を向けられない千代田区の住民に対する生命の安全性に向けた取組は、区の使命として明らかにすべきではないか。 （２）企業の安全…大企業が集積する特殊性を鑑み、国や都の立場とは異なる千代田区の独自性を出すべきである。

19	1.区内に住所を有する方	以下のとおり代案を検討した。 1. はじめに 千代田区は、特に、江戸幕府により飲料水の確保、水運、水害対策などのために川の整備がされたことから、江戸城を中心とした巨大都市へと発展し、約400年にわたる日本の政治の中心に加え、経済・文化の中心としても歴史を刻んできました。「千代田」の名称は、この江戸城の別名である千代田城に由来します。区内の川の機能については、近代水道の整備や第二次世界大戦後に輸送手段が陸路へと変遷したことにより衰退傾向にありましたが、近年、人々が生きるために必要な自然環境や防災機能といった観点から水辺空間の重要性が再認識されてきています。区の人口については、昭和30年代以降、業務地化の進行により定住人口は減少傾向でしたが、平成13年以降は定住人口の増加に転じ、今後も増加傾向が予測されているものの、日本全体では少子・高齢化の進展などにより活力の低下が懸念されています。また、近時においては、令和2年の新型コロナウイルス感染症の発生や、令和4年のロシアによるウクライナに対する軍事侵攻は、天然痘、麻疹、コレラ、ペストといった感染症や戦争、その他自然災害や飢饉といった人類の歴史を想起させ、生命の危機に直結する様々な問題が私たちの生活において常に隣り合わせであることをまざまざと実感させました。私たちは、このような歴史的教訓を踏まえた上で、変化に耐えうる機動的で柔軟な対応を行い、区民や区に関わる全ての人々と一体となって、豊かな地域社会を継承していくために、千代田区の新たな基本構想を定めます。 2. 区と基本構想の役割 (1) 区の役割 地方公共団体は、日本国憲法で定める地方自治の本旨に基づき、住民福祉の増進を図るために、地域における行政を自らの判断と責任において総合的に実施する役割を広く担う存在です。住民に最も身近で基礎的な地方公共団体である千代田区は、住民の暮らしに直接関わる仕事を優先的にを行っています。今後とも、安定的な財源の確保に取り組むとともに、自らの意思と責任で主体的に取り組める住民自治を確立し続けていきます。 (2) 基本構想の役割 基本構想は、千代田区の様々な行政計画の最上位に位置付けられる基本的理念であるとともに、行政運営の基本となる指針です。さらに、区民や区に関わる全ての人々と共有し、一体となって実現、継承していくための指針としての役割を持つものです。 3. 基本構想 (1) 江戸時代以降、近代日本の礎を築いてきた伝統を守り、千代田区民として誇りを持って生きられる社会にします。 (2) 地域に根ざした人間性豊かな教育を行い、歴史的に培われた文化及び自然遺産の保護及び継承を行い、将来世代を育みます。 «「教育と文化のまち千代田区宣言」(昭和59年3月15日告示第15号)» (3) 国際都市東京の中心である千代田区は、世界の恒久平和を実現するために、家族といった最小単位から、地域や世界の人々まで連帯して積極的に行動します。 «「国際平和都市千代田区宣言」(平成7年3月15日告示第29号)» 4. 基本構想実践のための心得 (1) 変化に耐えうる機動的で柔軟な対応 私たちは、歴史的教訓から将来の予測が可能な事象が生じた場合や、たとえ歴史上類を見ない事象が生じた場合であっても、機動的で柔軟な区政運営を行っていかねばなりません。そのために、日常的に社会の事象を客観的に分析し、効果的、効率的な行財政運営に努めるとともに、新たな技術や民間活力などを積極的に活用
----	--------------	--

		していきます。 (2) 多様性を尊重する社会づくり 豊かな地域社会を持続可能なものとするためには、多様な価値観や考え方を尊重し、互いに認め合うことが重要です。このため、多様性を包摂する社会づくりを推進します。 (3) 参画・協働の推進 区と区民が一体となって基本構想を実現、継承していくために、区民に対する情報発信を適宜行い、区政への区民の主体的な参画や多様な主体との連携、協働を推進していきます。
20	1.区内に住所を有する方	・人口減少、少子高齢化問題として、千代田区独自の考え、施策…企業が多い千代田区であれば、たとえば、育児休業取得者の男女別なく取得させること。全国の先例となしてほしい。 ・猛暑が続いている。根本的なヒートアイランド対策、緑を守る活動等をより考えてほしい。 ・温暖化の原因にもなっている脱炭素についての千代田区の取り組みはなにか。 ・日比谷ミッドタウンの三井不動産系会社に無償で区有地を提供したり、企業活動では考えられないような事が起きてがっかりしている。再開発の企画・周知・実行活動の透明化、コンプライアンス遵守をぜひともお願いしたく、区是としていただきたい。区有地を使用する場合の区の規則の見直し、再開発ありきで区有地を使うのではなく、区の財産で、いったん売却したり、等価交換したりしたら、のちのち大変面倒な事も起きるので、区有地売却については、住民の意見も広くつのり、公平に判断してほしい。 ・どうもまだ町会への依存度が高く、一般住民への周知や説明会が足りない。町会という面だけではもう住民の意向は拾いきれないのだと認識し、10年も前の計画だからとかそういう言い訳を言うってしまうような事は現代の柔軟性に欠けている。 ・最近、地区開発の説明会だとか、意見募集とか千代田区からの発信を多く見るようになった。良い方向に進むのではないかと期待している。
21	4.その他利害関係を有する方	・たたき台に記されていること全体として、特に問題として指摘することはないが、漠として具体性に欠け、これでは今後の区のあり方として何をを目指すのが甚だ不明確ではないか。千代田区は、大丸有地域、神田地域、永田町・霞ヶ関地域、番町等の地域、とおおよそ4分類に分けられるのであるから、基本構想においてもそういう特性に少なくとも言及し、これらを明確に意識しながら練り上げる必要があるのではないか。 ・それぞれの地域の特性・特徴を活かし、尊重するまちづくりをすすめるべきである。番町地域では昨年改定されたばかりの都市計画マスタープランにうたわれている考え方とはまるで合致しない。超高層ビル建設を進めようとする動きがある。概念的・観念的な議論ではなく、具体的・実地的なツメを行って、より良いまちづくりをしてほしい。 ・区民からの意見聴取を行うに際しては、ただ賛否両論を聞いて両論併記というような形ではなく、極力賛成と反対がどの程度のウエイトを持つのかを見極めていただきたい。そういう配慮やキメの細かさが必ずしも十分ではなかったのではないか。

22	1.区内に住所を有する方	・基本構想は行政計画の最上位であるため、まず「区民の命と生活を守る」を構想の一番最初に明記してほしい。 ・言っている事は素晴らしいと思う。具体的な方法の段階ではかなり難しいと思う。 ・情報発信のみならず「多くの区民からの意見の聴取も適時適切に行う」旨の文言も入れてほしい。今までの情報発信、今までの情報発信、意見聴取のやり方では駄目だという結果が出ている。 ・千代田区は大丸有に代表されるビジネスエリア、番町・麹町などの住宅・文教地区、神田・秋葉原などの商業地域とそれぞれ異なる特徴をもつ地域から出来ているので、豊さがなにかは人によってちがうので、分野別の将来像は地域別に分けて考えなくてはならない。 ・「暮らし続けられる様にきめ細やかな行政の施策を行う」と行政の義務も書いてほしい。 ・基本構想には「文教地区」という視点が欠けている。文教地区に事業者と一丸になって高層ビルを建てる為の地区計画変更に力をいれている千代田区の本物の姿の現れで、残念な事である。現在、千代田区には教育機関が多数存在しており、区民や団体、企業だけでなく、教育機関およびそこで学ぶ学生にとっても魅力のあるまちを目指すことを盛り込んでほしい。
23	3.区内の事務所または事業所に勤務する方	・千代田区で一番欠けているのは「対話」である。区民に対する情報発信を適時適切に行えば、区政への主体的な参加が促進されるのか。これは、上から目線ではないか。適時適切とは誰が決めるのか。上からの適時適切ではないか。必要なのは、情報に基づいた対話の場である。 ・神田警察通り道路整備の例でも明らかのように、そこには対話はなく、絶望しかない。有無を言わせぬ乱暴なやり方は、全国に千代田区の酷政をさらした。千代田区の恥である。事業をスムーズに推進するのが目的となっていないか。行政と区民、区民相互の対話の場をつくるのが行政の仕事である。 ・「（３）参画・協働の推進」は、締めくくりとして、大変重要な部分であるため、情報を流しておけば参画が進むという考え方は、あらためるべき。対話によって新しい道が開けるような場をつくることを求める。
24	1.区内に住所を有する方	・千代田区は区内においても、いくつか特徴を持った地域に分けられると思う。たとえば、皇居の東側はビジネス・国政・商業の町であり、私が住んでいる番町地域は、マンションが多く居住地であると同時に、大学、学校、会社があり、また大使館も多く、日中は多様な多くの人々が出会うことのできる地域である。それゆえに、多様な住民と共に、日中過ごすさまざまな職種人々が、教育機関、劇場、博物館など文化を共有し、また緑を共有するような落ち着いた街並みとして発展したら良い。

25	1.区内に住所を有する方	・「千代田市」を目指すを廃止すべき。新型コロナの蔓延を経験し、国・東京都と一体となる必要がある。広域対策も必要な時に。またたたき台に、「区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進」と有る様に、「千代田市」構想は現代の状況には合っておらず、廃止を宣言すべきである。 ・ 目指すべき将来像では「モダン」と表現されているが、伝統との対比では「現代風」とか近代化を表記が正しい。 ・分野別の将来像では、分野だけでは無く千代田区の各地域の特色・特徴を活かした将来像とすべき。 ・「めざすべき将来像」でも先人が築いてきた伝統を大切に表現されているが、伝統は、非常に重要な資質でも有り、その点を重視すべき。 ・「集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち」でも上記と同じように各地域で異なる。単純な「にぎわい」の表現では地域の特色を表現しているとは思えない。多様性を活かすにはお互いが理解を深め、他人の意見を尊重できる機会を「千代田区行政」は作る努力が必要である。 ・基本構想の実現に向けてでは、情報をすべて開示することを明記すべきである。行政からの情報開示が重要で、情報公開では無く基礎的自治体の構成員である区民への「情報開示」を進めるべきである。 ・基本構想は、「区民」「事業者」「昼間区民」「他の自治体」だけで無く、「千代田区行政」も守るべきものである。
26	1.区内に住所を有する方	・皇居の西側地区は、私立中等教育機関（中学校・高等学校等）、大学や専門学校という教育機関が集まっている地区であると同時に、比較的落ち着いたマンションが建ち並び良質な住宅地区として発展してきている。この環境は、治安の安全と落ち着いた町並みが維持されていてこそ成り立っているため、この地区を商業化し過ぎないことがこれからの50年の課題だと考える。
27	1.区内に住所を有する方	・千代田区の特性は地域ごとに雰囲気が違うことだと思うため、分野別のみならず地区別の細やかな配慮が必要だと思う。 ・多様性を尊重するのであれば、それぞれの地区の持つ歴史的、文化的背景を大事にすべき。 ・大手町や丸の内などの働きやすい官庁・オフィス街、遠くから電車を乗り継いで人が集まってくる有楽町、人情味にあふれた個性豊かな商店街のある神田地区、安心して通える園や学校と静かな住宅街が共存する番町麹町など、それぞれの魅力を失わないようなまちづくりを、住民の意見を尊重しながらプランニングすることが重要である。